

# 北汲沢地区だより ねむのき

第111号 発行日 2023年4月1日

発行 北汲沢連合町内会、北汲沢地区社会福祉協議会

## 大規模地震はそこまで迫っている

## 3年ぶりに開催出来た <sup>さんじょ</sup>三助確認の防災訓練

2022年は、全国的に震度5弱以上の地震が15回発生しており、6年ぶりの多さ。南関東でも、いつ大規模地震が起こってもおかしくない状況。コロナ禍の影響で3年間中止を余儀なくされていた統一防災訓練、今回は総勢104名(前回120名)の参加を得て、1月29日に踊場公園「円形広場」で開催。



町内会毎に、昨年連合で作成した町内会旗に集合。岡田会長の挨拶、戸塚消防署早坂予防課係長、区役所北汲沢地区担当、汲沢ケアプラザの皆様にご挨拶を頂き訓練を開始。消防署員2名、消防団員7名の指導の下、AEDを使った心肺蘇生班、毛布を簡易担架として使用した緊急搬送・煙体験班、ケアプラザに例年ご協力いただいている地区社協の車椅子搬送体験班の3班



で構成。今回は消防署のご指導の元、住宅用火災警報器の確認を受付で行い、当地区で継続している無火災継続の意識付けとなった。当日は例年よりは穏やかな日差しの中の訓練であった。最後に、訓練のサポートや配布グッズの提供他にご協力いただいた戸塚消防署・消防団、区役所、汲沢ケアプラザ、地区社協、東明東・西町内役員、保健活動推進員の皆様に感謝いたします。



# 全体活動の再開見直し検討！

北汲沢連合町内会では、第三四半期の活動や各町内会がコロナ規制緩和に向け、智慧を出し合いながらこれまでのいろいろな活動の検討を行っています。

## ＜東明東町内会＞

コロナの影響も少しずつ減り、2023年に入り、連合町内会の防災訓練等町内会の活動も動き始めてきた。2月26日には汲沢小学校を拠点とする地域防災拠点運営委員会の訓練も実施され、机上の計画にしてしまわないための活発な討論が行われた。東明東町内会は1～3月は集合しての活動は予定されていないが、次年度への準備は役員会の中で進められている。2019年以來の納涼祭の開催へ向け、従来の運営の在り方について会員の負担を抑えながら喜んで貰える納涼祭にすべく改善案を検討している。まず、東明東と西の両町内で、器具の更新等作業の省力化、規模の縮小等の改善策を策定し、次年度には新しい形の納涼祭を開催し、東明東・西の会員から歓迎される大会を目指している。

## ＜東明西町内会＞

- ◇東明西町内会の年末パトロールは、今年も子供たちの参加は取止めて少人数の大人だけで行ないました。
- ◇最近のごみの分別がされず、回収日など関係なく出されています。回収されず残されていますので、パトロールをしながら場所の確認をしています。

## ＜連合町内会情報＞

今年は、戸塚区の地域活動推進費を活用して、連合の帽子(キャップ)を100個作成中。(連合のブルゾン・のぼり旗の色：黄緑、町内会ロゴ、名前入り)各町内会毎に連合役員他向けに配布予定。

又、継続しているコロナ・インフルエンザ対策を鑑み、気温が低い場合でも使用可能な非接触体温計を各町内会に配布予定。

### ■ 4月～6月の行事予定

- 親子ホタル鑑賞会 5/27(土)時間は別途
- 連合統一さわやか運動 6/11(日)9時～
- ペタンク大会 6/25(日)時間は別途
- 地区懇談会 6/13(火)14時～16時

## ＜新生自治会＞

「子供の遊び場公園」の花壇は新生自治会の文化事業として、役員の方が毎日交代で水遣りをし、花を育てています。今は、昨年10月に植えたパンジーとノースポールが満開を迎え、公園を訪れた子供たちを楽しませています。



## ＜六郎丸町内会＞

現在、六郎丸町内会は新会館を拠点としたイベント開催に向け、検討委員会を発足させ鋭意検討中です。令和5年3月を迎えコロナ規制の緩和が進んでいます。とりわけ、大きなトピックスであるマスク着用が個人の意思に委ねられる環境となる中で、ニュースで伝えられた事項を意識、年頭において、着実に行事再開を目指していきたいと思えます。ねむのきの紙面をお借りして参考までに紹介させていただきます。『不特定多数が密になっているか?』『重症化リスク高い人がいるか?』『不安に思っている人がいるか?』まだまだ油断は禁物です。

## ＜富士見町内会＞

富士見の年末統一パトロールは3年前から、子ども会協力のもと、コロナ対策を工夫して実施。子どもは3日の参加に制限、声は出さず録音を使って拍子木のみ、体温測定・手の消毒を徹底。合計142名(子ども：69名、大人：73名)の参加で、昨年より10名増加。子ども達は、参加後のお菓子の配布を楽しみに！





～ コロナ禍でも地域の高齢者を支える ～

## 福祉活動委員会支援活動！

平成23年3月に一般社団法人としてスタートした北汲沢地域総合福祉活動委員会は、その後、平成25年5月に地域組織として県内でもめずらしい公益社団法人に認可されました。地域の高齢者を手助けする有償福祉運送による送迎事業は、国土交通省自動車局の自家用有償旅客運送の全国80事例として作成した中で、詳細事例の20団体に選定され注目を浴びている事業です。

### ■ 日常支援事業活動内容

- (1) 巣籠もりで高齢者の運動不足による骨折が多くなり、ワクチン接種や買物支援で急増する利用者への対応に四苦八苦しています。支える担い手は、高齢となり免許返上者も増える中で、7名の担い手（女性3名）が、2月末現在1882回と今年度は2000回の大台を突破する予想で、地域の高齢者の手足となり送迎に大奮闘中です。・・・医療施設、福祉施設、ワクチン接種、買物支援、公共交通機関や公共施設への送迎など。
- (2) 特に、この地域は坂道が多いので歩行に支障のある健常者を含めた利用者の範囲は、公共交通機関や買物の不便な六郎丸、富士見、新生会各地域の利用希望者も増えており、地域全般へ広がりを見せています。
- (3) 日常支援活動は、空家住宅の樹木の剪定や垣根の剪定などの大規模活動の回数が多く、東明西地域や富士見、六郎丸地域の活動が多い。
- (4) 1人暮らしの高齢者宅の新聞出し、買い物、包丁とぎなどの家事支援活動が最近少なくなってます。地域の会長や民生委員などに一声かけていただければボランティアがお手伝いします。

<運転資格> 支える担い手は、道路運送法第79条2項の「自家用有償旅客運送」のセダン型による「福祉有償移動サービス運送」の資格を取得し（2日間の研修）、3年毎に更新審査

<監督官庁> 公益法人は神奈川県・・・1年1回公益法人の認定審査有、福祉有償旅客運送は、横浜市・・・3年更新審査有

<地域組織> 総合福祉活動委員会・・・5人の理事、1監事（役員登記）3人の常任委員、3人のアドバイザー（区役所、区社協地域ケアプラザ）

社員総会



送迎支援



日常支援





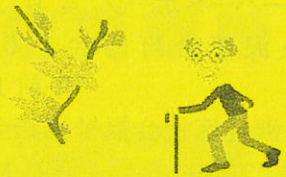
# 地域の耳寄りなほなし



## 生活のヒント

今年春の訪れが大分早かったように思われます。コロナ禍も終息に向かっておりコロナ専門の病院が大きな役割を終えたニュースやマスクの装着は自己責任の判断に委ねられた事となり、大きな第一歩となりましたが、まだまだマスク装着の習慣は外せない雰囲気の様子ですね。特に電車の中や人が多い町中では、マスクなしは抵抗がありそうです。

皆様、これから新緑の爽やかな季節ですが、それぞれが工夫をしながら、外に出て精一杯春を満喫しませんか！！



## 短歌を作る楽しみ・・・16回

門前町のアーケド抜けると花明り  
人ら行き交う 桜満開に

コロナ禍や地震など寒い冬を耐えて出会える、明るい花咲く暖かい春の季節である。

(東明西町内会 佐々木つね氏投稿)



## 短歌投稿・・・第3回

遠き日に 母のつくりし つみれ汁  
今宵我が家の 夕餉賑わす



一年の 感謝をこめし 手作りの  
おせち料理に 初春祝う



(新生自治会 柿本 里子氏投稿)

## 俳句の投稿・・・13回

寄せ返えず 波の音階 桜貝

一日を江ノ島に遊ぶ。浜辺をゆっくりと歩き出す。さくさくと音を残して行く、波は足音に入り込む。桜貝は波音をゆれる。



婆さまの見廻り気まま 春の畑

いつも自由自在に畑のあちこちを歩き廻っている。それが楽しみの一つであり、あれこれと指示をするもとなることである。

(新生自治会 町田 秋泉氏投稿)

## 地域他雑感投稿・・・第5回

新しいランドセルしょって、うれしいな、楽しいはずの学校生活が、先生とお友達の間で小さな心を痛めたコロナ禍の一年だった。でも、桜の花が咲く頃は2年生だ。コロナ規制の緩和で、新しい先生とお友達とおはようからさようなら、またあしたまで、大切な勉強とおいしい給食を食べ、運動会だ遠足だと以前のような毎日楽しい2年生を送って良い思い出を残して欲しいと心から願っています。



(新生自治会 黒川登貴子氏投稿)



## 情報コーナー

### 令和4年度各町内会 ・連合・社協等の定期総会日程

富士見町内会	3月26日(日)午前10時
新生自治会	4月9日(日)午後7時
六郎丸町内会	4月9日(日)午前10時
東明西町内会	4月15日(土)午後7時
東明東町内会	4月16日(日)午前10時
クローバースポーツ	4月1日午後2時 汲小
北汲沢連合町内会	5月14日(日)
	午前10時:東明倶楽部
北汲沢地区社会福祉協議会	5月14日(日)
	午前11時:東明倶楽部
北汲沢地域 総合福祉活動委員会社員総会	5月21日(日)午前10時 東明倶楽部

### ～てんとう虫～

すっかりあたたかくなり、寒い冬が夢だったかのよう。

ある日、子供たちが小さなてんとう虫を見つけて飼いたいと言い出した。手にのせると上へ上へと登り始め、いき場がなくなると指先から太陽を目指すように飛び立つ習性は、天道虫という名の由来。

派手な色で目立つため天敵が多いと思いきや、鳥も吐き出すほどの苦い液体を出して身を守っている。てんとう虫は冬を越すそう。寒くなると成虫のまま枯葉の中などで過ごし、春になると動き出す。幼虫も成虫もアブラムシをエサとするので、家庭菜園をする方には益虫として重宝される。壺町ヶ谷公園で新生会の皆さんが手入れされるクローバーもアブラムシの大好物。増えすぎると枯らしてしまうので、てんとう虫が守っているのかも。

子供たちは、手でそーっと捕まえて帰ってきたのに、いつの間にか手からいなくなっていて大騒ぎ。きっとアブラムシのパトロールに戻ったんだねと話したところ、納得したようです。また壺町ヶ谷公園でかわいい姿を見られるだろう。



## クローバースポーツクラブ情報

昨年もコロナ対策を充分採りながら、117会員(前年129会員)が年間を通じて23回に延べ2000名(前年2157名)が参加し、コロナ禍でも巣籠りをせず健康づくり、なかまづくりができて喜ばれました。

新年度は4月8日(土)スターしますが、一年間9活動教室で開催します。

◇活動日 年間23回(毎月第2、第4土曜日9時～13時 2時間毎の2部制)

◇年会費 個人会員 3,000円

家族会員 8,000円

その他、会員証発行手数料100円と教室により材料費・保険料等の負担があります。

◇申込方法:各活動日に汲沢小学校の会場で受付しています。

◇お問合せ先

:事務局 加藤(871)4350



## 編集後記



長かったコロナ禍も、ようやく終息方向で一安心、マスクの着脱も自己責任ながら解禁。早い桜の満開とWBCで盛り上がった日本列島、皆さん大いに春を満喫できているようでうれしい限りです。

地域の各町内会は、いつもの年間行事再開を目指して、改善工夫をしながら新たなスタートをしようとしています。

特にこの地域は、世間では少子化、人口減少といわれているが、子供の数も戸数も減らず富士山がいつも見える住みやすい地域です。高齢化は進んでいますが、ボランティア精神の高いこの地域で、公益法人として高齢者に役立っている福祉活動委員会の活動を、今回特集記事にして見ました。

地域の情報を全世帯に配布する【ねむのき】を引続きご愛読ください。



編集委員

加藤 邦雄 小上 ふぢい 林 理恵  
駒口 秀紀 岩田 吉隆